

レクチャーコンサート・フルートと南吉ピアノでたどる 新美南吉と同時代の音楽

2022 **2/20** 日

13:30開場／14:00開演
アンフォーレ本館1階ホール

無料／先着100名

プログラム
Program

ドビュッシー 《シラクス》
ホルヌ 《カルメン・ファンタジー》
ベートーヴェン ソナタ 第5番《春》より 第1楽章

他

「ごん狐」で知られる作家・新美南吉の作品には、「良寛物語 手毬と鉢の子」や「たけのこ」「鴛鴦」など、笛の音が印象的に描かれた物語があります。そこに登場する笛は、植物で作られた東洋の笛のようです。

南吉は、1913（大正2）年の生まれ。この頃、愛知県では陸軍軍楽隊による一般に向けた音楽会が鶴舞公園野外音楽堂（名古屋市昭和区）にて催され、金属で作られた西洋の笛、フルートも登場していました。

南吉の遺した手紙やエッセイには、ドビュッシーやストラヴィンスキーといった当時の現代作曲家の名前も見られます。そうした前衛的な作品の中で奏されるフルートの音色を、南吉は聴いたのでしょうか。

「新美南吉と音楽」研究に従事するピアニスト・加藤希央氏と、音楽博士で鶴舞公園軍楽隊音楽会についても詳しいフルーティスト・丹下聡子氏による、南吉と同時代の音楽についてのレクチャーコンサートです。



レクチャー&フルート たんげ さとこ
丹下 聡子

フルート奏者、保育士。愛知県立芸術大学大学院博士後期課程修了。19世紀フランスのフルート奏者アンリ・アルテスに関する研究で博士（音楽）号を取得。ソロリサイタルのほか、室内楽コンサートにも多数出演しており、現代音楽演奏グループ「音楽クラコ座」のメンバーでもある。現在は、保育園に勤務しながら幼児教育における音楽についての研究を行うとともに、中部地区では、各務原、安城にてフルートのレッスンも行っている。



レクチャー&ピアノ かとう きょ
加藤 希央

愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻ピアノコース卒業。同大学大学院音楽研究科博士前期課程（音楽学領域）修了。長久手市長賞受賞。新美南吉の教え子であった祖母とその同級生に取材した修士論文『新美南吉が聴いた音楽—安城高等女学校教員時代の日記を手がかりに』は、第13回日本修士論文賞佳作に選出された。ピアニストとして演奏活動を行う他、児童芸術教育関連の社会的活動にも従事する。名古屋経営短期大学子ども学科講師。

【対象】 一般（中学生以上） ※小学生は保護者同伴なら可能。未就学児は不可。

【申し込み期間】 令和4年1月19日（水）午前9時より開始

【申し込み方法】 午前9時～午後8時（火曜日・第4金曜日を除く。土日祝は午後6時まで）に電話、またはQRコードから申込。（申し込み館にて受付。定員になり次第締め切り）

【問い合わせ】 安城市アンフォーレ課（安城市図書館内）

Tel. 0566-76-6111



▲申し込み用QRコード